

HARI Question Bank

東洋医学シリーズ

クエスチヨン
バンク

鍼灸理論

蛭東洋医学研究所

目次

鍼灸理論Ⅰ	3
鍼灸理論Ⅱ	12

※ページ番号はpdfファイルのページになります。

本書の使い方

- ✓ 左半分 穴埋め問題になっています
- ✓ 右半分 回答文になっています
- ✓ 右半分を隠して、左半分を見ながら、
右側の内容が答えられるよう暗記しましょう

鍼灸理論 I

鍼灸理論 I (1)

① 痛み

- 痛みの定義 痛みの○は○的○的○経路, 二は○
○に存在する。此○うる組織損傷に付随する。
痛みは○の損傷に○る経路。
○は○の○の○を含む○の○の○。
○であり。○し。○する○の○。

不快, 感覚, 情動
現象, この先起りする
及びして語らる。
不快, 情動, 記憶, 主観的
経路, 認識, 記憶。

② 痛みの種類 3つ ① 急性疼痛

①は生体の○特徴, 2種類 ○痛, ②慢性疼痛

②は○痛, 痛みの○痛, 変容疼 10-4-3. 損傷→

③ 痛覚受容器の種類 形態○, 特徴○

種類2つ ○受容器

③は○能○線維○群 ④は○

③は○刺激○反応 ○は○刺激○反応

○, ○は○存在○

痛みの○は○痛, ○は○痛, ○は○痛, ○は○痛

④は○ " ○ " ○は○痛, " ○ "

③は○痛○, ④は○痛○, 痛○中○刺激○

感覚神経の○心. Ad, Aδ, Aβ, Aγ, B, C, 無髄 Aδ, Aγ, Aβ

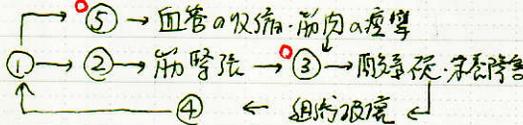
1. 2. 5. 虫垂炎, 腫瘍, 腎臓, 二は, 三は, 四肢, 視床, 下, 中枢神経

④ 内因性疼痛物質 5つ 増産物質 1, 2, 3, 4, 5

⑤は○痛○(○痛○)の○, ⑥は○痛○, ⑦は○痛○

⑧は○痛○は○痛○の○の○痛○

⑨は○痛○中○刺激○(○痛○)の○痛○



⑤ 伝導路 ① 痛み(伝導), ② 痛み(伝導), ③ 痛み(伝導)

痛みの○痛○(伝導) " " " " 痛みの○痛○(伝導) " " " "

痛みの○痛○(伝導) " " " " 痛みの○痛○(伝導) " " " "

○痛○の○痛○(伝導) " " " " 痛みの○痛○(伝導) " " " "

⑥は○痛○(伝導), 痛みの○痛○(伝導) " " " "

⑥ 脊髄内神経伝達物質 ○痛○(伝導) " " " "

⑦ - 痛○(伝導)

⑧ - 痛○(伝導) " " " " (痛○)

不快, 感覚, 情動
現象, この先起りする
及びして語らる。
不快, 情動, 記憶, 主観的
経路, 認識, 記憶。
侵害受容性, 神経因性, 心因性
防御, 体性痛, 内臓痛, 損傷, 障害
痛覚過敏, 痛みの○痛, 異所性発火, 知覚鈍麻

自由神経終末, 順応性
高閾値, 痛みの○痛
有髄 Aδ, B, 無髄 C, D
機械的侵害刺激のみ反応
機械的, 熱的, 化学的, 非侵害性, 侵害性両方
深部組織, 内臓, 筋, 骨, 全身分布
速痛, 一次痛, 刺激の○痛, 痛みの○痛, 痛みの○痛
遅痛, 二次痛, 痛みの○痛, 痛みの○痛, 痛みの○痛

誘引, 情動, 抑制
Ad: Ia, Ib, Aδ, Aβ, Aγ, B, C, 無髄 Aδ, Aγ, Aβ
A, A, B (痛みの○痛), B, B, B, B, C, C, B
H⁺, K⁺, Eps⁺, セロトニン, グラマニン, プロスタグランジン
肥満細胞 (マスト細胞), 血小板, 血中の血小板
細胞膜, 脂質, 脂肪酸
抑制, 疼痛

① 侵害受容器の刺激, ② 運動神経の興奮,
③ 局所血流減少, ④ 内因性疼痛物質の産生
⑤ 交感神経系の興奮

⑥ 脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛
脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛
脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛

脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛
脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛

脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛
脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛

脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛
脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛

脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛
脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛

脊髄神経根の刺激, 脊髄神経根, 痛みの○痛, 痛みの○痛

鍼灸理論 I

③

○モルヒネ特効、痛みのとちうに、○2'拮抗作用の
 受容体 3つ

① MOR, ② μ , ③ κ



全2

①下行性抑制 1-3
 4-6
 7-9
 10-12

①と②は ○15. 脳脊髄作用の○, ○○存在

②血中 両方向の○と○の○設置と○, ○の○

③○の○の○... ○の○の○... ○の○の○... ○の○の○...

③上行性 ①→②線維→③→④上行→⑤(痛み)

上行性の○ ○神経伝達力の○賦活と○, ○

痛みの○ ○抑制, 痛みの○ ○抑制

痛みの○ ○抑制, ○の○の○

痛みの○ ○の○の○, ○の○の○

痛みの○ ○の○の○

オピオイド, ナロキソン, ノゾコト
 μ, δ, κ

μ : エンケルフィン, モルヒネ, δ : エンケルフィン, κ : ファイルフィン

1 視床下部 2 β インデルフィン 3 中脳中心及白質

4 エンケルフィン, 5 橋の青斑核, 6 1/1ルピルフィン

7 延髄の大橋核, 8 セロトニン, 9 脊髄後側索

10 脊髄後核, 11 GABA: 鎮痛抑制, 12 グルタミン酸

抑制性, 13 橋核, エンケルフィン, ファイルフィン

下垂体前葉, ACTH, β インデルフィン, 鎮痛剤とスルメ

視床下部, 脳下垂体, 血液脳関門,

早く, 不安定, ナロキソン

1 ナロキソン受容体 2 C.A.S. 3 脊髄後側索

4 対側の前側索 5 視床下部 6 1-10 7 β インデルフィン

C.A.S.

3 脊髄後側核, 脊髄後角

全身性, 数10分~数時間

D-72ニルゾニン, エンケルフィン分解酵素の阻害剤,

エンケルフィン分解酵素の活性度合... 活性の鎮痛作用

Melzack & Wall, ミルザックウォール

AB, 痛圧刺激

脊髄後角の膠様質, SG 抑制

痛みの伝導の抑制

前抑制, 脱抑制

有髄, 無髄, 抑制, 伝導, 後抑制

脊髄分節性

弱い, AB 興奮

即反性, 可消失

脊髄分節性, AB, ナロキソン説

ナロキソン拮抗作用, 内因性ナロキソン阻害作用, 脊髄分節性

○ナロキソン

○下行性抑制

○鎮痛

○脊髄後側核

銅各理論 I

(4)

手洗い、銅欠の〇の手洗いと行方
 手指消毒、〇洗(カマシ法)
 手洗いの原則、〇〇
 手洗い液、〇%、〇%、〇%、〇%、〇%、〇%、〇%、〇%
 手洗いの回数、〇回、〇回、〇回、〇回、〇回、〇回、〇回、〇回
 手洗いの時間、〇分、〇分、〇分、〇分、〇分、〇分、〇分、〇分
 手洗いの場所、〇所、〇所、〇所、〇所、〇所、〇所、〇所、〇所
 手洗いの器具、〇器具、〇器具、〇器具、〇器具、〇器具、〇器具、〇器具
 手洗いの注意、〇注意、〇注意、〇注意、〇注意、〇注意、〇注意、〇注意
 手洗いの禁忌、〇禁忌、〇禁忌、〇禁忌、〇禁忌、〇禁忌、〇禁忌、〇禁忌
 手洗いの効果、〇効果、〇効果、〇効果、〇効果、〇効果、〇効果、〇効果
 手洗いの歴史、〇歴史、〇歴史、〇歴史、〇歴史、〇歴史、〇歴史、〇歴史
 手洗いの未来、〇未来、〇未来、〇未来、〇未来、〇未来、〇未来、〇未来
 手洗いの研究、〇研究、〇研究、〇研究、〇研究、〇研究、〇研究、〇研究
 手洗いの応用、〇応用、〇応用、〇応用、〇応用、〇応用、〇応用、〇応用
 手洗いの発展、〇発展、〇発展、〇発展、〇発展、〇発展、〇発展、〇発展
 手洗いの展望、〇展望、〇展望、〇展望、〇展望、〇展望、〇展望、〇展望
 手洗いの結論、〇結論、〇結論、〇結論、〇結論、〇結論、〇結論、〇結論

衛生の手洗い
 洗淨法(ワブ)、掃拭法(セツ)、消滅法(スワブ)
 一処置、一手洗い
 70%、80%、IHLPLJ-L(I71-1L)
 単回使用電銅、医療、機器、II
 I4Lニオキサイドガス(EOG)
 11-ニニール、銅体に触るとい
 押午、片午挿管法
 付着物の水洗い
 115-118°C(30分)、121-124°C(15分)、126-129°C(10分)
 医療関係施設
 感染性疾患切りの、医療、廃棄物と作る
 インフォームド・コンセント
 疲勞感と倦怠感、微量の出血
 誤認論(教育、研修)、り、り、度忘り(32%改善)
 アクシテント・インシテント
 1°-2°-カー、知覚脱去、循環障害、筋力低下、発熱、けい攣
 救急、手術時、出血性、抗血液剤、性断中、悪性腫瘍
 急性重症、大泉門、十二指腸、乳癌、尿管、尿管
 初期部、尿管、尿管、尿管、尿管、尿管、尿管、尿管、尿管
 肩井20mm、膏肓19mm、中腕5mm、梁門10mm
 騎命40mm、志堂20mm、膻中10mm
 瘰癧門30mm、天柱35mm
 気胸、胸痛、咳、呼吸困難、冷汗
 膻中、心ヲニテ、胸内、腺腫、球菌
 肋間神経痛、頸腕痛、腰痛
 肩関節、膝関節
 1%、9日
 尿管検査、尿管検査、抗血+抗凝集抑制剤、抗凝固剤
 透打患者、抗凝固剤、の予防治療
 一般医療、再使用可能電銅、非能型挿管、単回使用電銅
 管理医療、J25、品質保証体制
 単回使用電銅、銅管任意同破治療

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 肝炎の7742年 ○と○ HBs抗体とHBe抗体の割合 ○と○ ○と○ ○と○ ○と○ | <p>HBV. HAV</p> <p>HB7742は HBV 肝臓の予備予後と700</p> <p>HB7742の HBs抗体, 3日付</p> <p>HBV. HCV. H2V</p> <p>流水中の血液を絞り出す</p> |
|---|--|

鍼灸理論 II

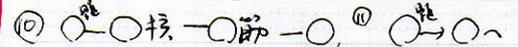
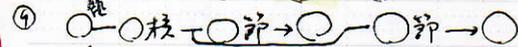
鍼灸理論 II

①

① 自律神経・交感神経 脊髄の ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

(例外) 二重交感神経 前部神経節に到達しない

副交感神経 腸管の平滑筋に到達する神経



自律神経の支配 二重交感神経

① 例外 交感神経

② 例外 副交感神経

③ 月経 月経孔 (交感/副交感) 汗腺, 瞳孔括約筋, 心臓, 消化管, 消化腺, 膀胱括約筋, 膀胱排尿管

消化管, 消化腺, 膀胱括約筋, 膀胱排尿管

(位置) 交感神経 (前/後), 副交感神経 (前/後)

神経節位置 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

α 拮抗作用

作用

β 拮抗作用

作用

血管 (自律神経) 大動脈血管, 交感神経興奮 → 血管収縮 / 拡張

骨格筋の血管, 副交感神経 → 血管拡張

交感神経興奮 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

交感神経 → 血管収縮 → 血管拡張

副交感神経 → 血管拡張 → 血管収縮

(例外) 交感 → 血管収縮 → 血管拡張

交感 → 血管収縮 (例外) → 血管拡張

鍼灸, 痛みの緩和, 皮膚血管 → 血管拡張

痛みの緩和 (例外) → 血管拡張

副交感神経の興奮 → 血管拡張 → 血管収縮

交感神経の興奮 → 血管収縮 → 血管拡張

(生理) 呼吸, 消化, 排泄 → 血管拡張

自律神経の調節 → 血管拡張 → 血管収縮

自律神経の調節 → 血管収縮 → 血管拡張

自律神経の調節 → 血管拡張 → 血管収縮

胸郭, 呼吸器, 消化器, 自律神経, 交感神経幹神経節, 腹部内臓, 瞳孔括約筋, 毛様体筋, 中脳-脳神経副枝-毛様体神経節

瞳孔括約筋, 毛様体筋 / 中脳-脳神経副枝-毛様体神経節

延髄-下呼吸核-呼吸器, 延髄-内臓-呼吸器

二重交感神経, 拮抗作用

大部分の血管, 汗腺, 立毛筋, 瞳孔括約筋, 副交感神経, 膀胱, 腎臓

瞳孔括約筋, 瞳孔括約筋, 分泌, 収縮, 拡張, 抑制, 興奮

鍼灸理論 II

②

免疫反応は、① ② ③ ④ ⑤

① 組織損傷 → ② ③ ④ → ⑤ ⑥ → ⑦ ⑧ → ⑨ ⑩ → ⑪ ⑫

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑩ ⑪ ⑫

⑪ ⑫

⑫

血管透過性亢進, 疼痛, 白血球浸潤, 血管拡張, 発熱.

ヒスタミン, エドニン, 腺素, SP, CGRP

K⁺(細胞内), ヒスタミン(肥満細胞), エドニン(血小板), アドレニン(白血球)

アトリエン, ① アトリエン, ② アトリエン

① アトリエン / アトリエン, アトリエン

炎症性サイトカイン, 視床下部, 体温調節中枢

自然, 好中球, 単球, NK細胞, 補体

獲得, 抗原, 特異的認識, 識別, 免疫記憶

抗原, 抗原提示, 樹状細胞, マクロファージ, B細胞

樹状細胞, ランゲルハンス細胞

抗原提示細胞, APC-T細胞, マイトカイン

チラーチン-T細胞, マクロファージ

B細胞 → 形質細胞

① マイトカイン, 自律神経, 神経内分泌系, ストレス

Th1: 細胞性免疫(チラーチン-T, マクロファージ), Th2: 体液免疫(B細胞)

② 免疫応答, ③ 血液, ④ 免疫記憶

腺素, 炎症, 血管透過性亢進, 血管拡張, ⑤ T細胞

免疫記憶, ⑥ 免疫記憶, ⑦ 血管収縮

好中球, 腺素, ⑧ 腺素

白血球浸潤, 血管透過性亢進, ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

⑩ ⑪ ⑫

⑪ ⑫

⑫

本書の一部あるいは全部を、無断で複製、
転載すること、インターネットで掲載する
ことは、著作権者および出版社の権利の
侵害となります。

あらかじめ許諾をお求めください。

本書を無断で複製する行為（コピー、
スキャンなど）は、「私的使用のための
複製」など著作権法上の限られた例外を
除き、禁じられています。

また、複写物やスキャンデータを他者へ
譲渡・販売することも違法となります。

東洋医学シリーズ クエスチョンバンク

発行者 大塚 信之

発行所 蛸東洋医学研究所

HARI Hotal Ancient-medicine Research Institute

住所 大阪府豊中市蛸池中町

<http://otsuka.holding.jp/HARI/>

E-mail : hari@otsuka.holding.jp

Printed in Japan ©2020 東洋医学研究所